

大阪市立 男女共同参画センター中央館(クレオ大阪中央)

令和3年度 事業報告



指定管理者

団体名	大阪市男女共同参画推進事業体 代表者：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会 構成員：サントリーパブリシティサービス株式会社、グローブシップ株式会社
主たる事務所の所在地	大阪市天王寺区上汐5丁目6番25号
代表者	一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会 理事長 槇村久子
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

施設概要

施設名	大阪市立男女共同参画センター中央館(クレオ大阪中央)
所在地	大阪市天王寺区上汐5丁目6番25号
施設規模	構造：鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 規模：地下3階地上4階建塔屋付 建築面積：1,777.90㎡ 延床面積：7,667.76㎡
主な施設	地下3階 駐車場 地下2階・地下1階 ホール、舞台、控室 1階 ホール(バルコニー席)、相談室 2階 保育室、事務室 3階 会議室、研修室、和室、交流サロン、情報・図書コーナー、研究室、展示ギャラリー 4階 クラフト調理室、セミナーホール、音楽室(多目的室)

1. 指定管理業務の実施状況

【新たな創意工夫した取組み】

- ・施設予約サービス等の拡充により利用者の利便性の向上を図った。
(Web 予約、ホール抽選会への Web エントリー開始、ホール用インターネット回線の設置)
- ・ホームページのリニューアル(施設利用、事業参加への誘導を充実)
- ・子育て層をターゲットとした事業、「本を読む日」の定員を上回る申込が続く状況に対応し、女性相談と子育て相談の視点を取り入れて「ベビママサロン」を新規開催した。
- ・オンデマンドセミナーを実施し市民の学習機会の拡大を図った。中央館では5館のテーマ調整、撮影業者の一括手配、クレオ大阪ホームページ・クレオ大阪 YouTube チャンネルで公開および公開用のサムネイル画像の作成を一括して行い、効果的・効率的な実施に統括的役割を果たした。

(1) 施設の管理運営

大阪市立男女共同参画センターの設置目的、「大阪市男女共同参画基本計画(第3次大阪市男女きらめき計画)」(以下「基本計画」という。)に基づき、男女共同参画という施策目的の実現を図る施設として、大阪市立男女共同参画センター中央館の施設運営方針を定め、その目的達成に向けた事業を行った。

(2) 施設の管理・運営に関する業務

施設全般の管理運営

施設の総合管理業務

施設の貸館運営業務

利用料金の収入業務

施設の利用キャンセルの受付・利用料金の還付業務

指定管理者による利用者モニタリング及び自己点検の実施

関係機関、利用者等との会議等

2. 利用状況

(1) 年間利用状況

年間開館日数 254 日

	令和3年度目標	令和3年度実績	(参考) 令和2年度実績
稼働率 (控室、ギャラリーを除く)	69.4%	51.6%	41.6%
利用者数		201,541 人	114,472 人

- ・新型コロナ対応のため、臨時休館、開館時間短縮、各種イベントの中止・利用自粛に伴うキャンセルの増加が影響し、年間稼働率は51.6%となった。10月(56.3%)・11月(68.0%)は回復傾向にあったが、4月(39.6%)・8月(48.8%)・9月(45.7%)、1月～3月(平均49.2%)の低稼働率が影響し、稼働率は前年度比で10ポイント、利用者数は87,069人の増加にとどまった。

【臨時休館、施設の供用休止等】

- ・緊急事態宣言に伴う臨時休館(4/25～6/20)
- ・緊急事態宣言等に伴う開館時間の短縮(21時まで)(8/2～10/24)
- ・まん延防止等重点措置による制限(4/5～4/24、6/21～8/1、1/27～3/21)
- ・利用人数の制限等(時期によって異なる)

【利便性の向上に向けた新たな取組み】

インターネットでの施設予約サービス等の拡充による利便性の向上

- ・施設 Web 申込 ... 7/27 運用開始(申込開始日からの1月間は電話・来館での申込を優先)
12/1 運用変更(申込開始日の21時から Web 申込可能と変更)

- ・ホール抽選会への Web による事前エントリー ... 12/1 運用開始(令和5年1月分より受付)
 - ・コンビニ決済 ... 3/1 運用開始
 - ・360度カメラによる施設案内をホームページ上で公開
- ホールの利用促進に向けた環境の整備**
- ・インターネット回線の設置、高画質プロジェクターの導入

利用料金収入

施設	駐車場	合計
43,443,580 円	3,455,790 円	46,899,370 円

令和3年度収入は、4年度利用分を含む。

【徴収済みの利用料金の全額還付(時期によって異なる)】

- ・市が指定する期間におけるキャンセル
- ・「不要不急の外出自粛」に協力する主旨でのキャンセル
- ・開館時間短縮に伴うキャンセルや、時間区分の変更
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に協力する主旨で施設使用を見合わせたもの など

(2) 利用者モニタリング及び自己点検

窓口スタッフの対応及び施設・設備について(施設利用者アンケート n=2,008)

内容	大変満足	概ね満足	満足度	やや不満	大変不満	不満足度
窓口スタッフの対応	71.2%	28.7%	99.9%	0.1%	0.0%	0.1%
施設・設備	64.7%	34.4%	99.1%	0.8%	0.1%	0.9%

(目標数値 利用者満足度 80%以上)

【自由記述欄の主な記載内容】

- ・ガス台、レンジ、新しくなり感激です。
- ・今年はこちらのホールで発表会ができ、保護者の方々から喜びのお言葉を頂きました。ありがとうございました。
- ・メールやアプリなどでやり取りしたい。
- ・施設予約が Web でできるようになったのは大変嬉しいです。

ご意見箱 受付数 10 件

- ・トイレに除菌液を設置してほしい。
- ・1階の女子トイレを男性がのぞいていた。子どもが多く利用しているので、ドアに「開放厳禁」の貼り紙すべきです。
- ・新聞記事をコピーしたかった。図書室内にコピー置いてもらいたい。

聴き取りによるアンケートの実施

一堂に会しての利用者懇談会は新型コロナ対応のため取りやめ、個別の聴き取りにより実施した。

【実施期間】3月8日～3月29日

【対象】施設抽選会参加者および施設利用者(申込受付時)

【回収数】102件

【主な実施結果】

- 施設の申し込み、設備等について
インターネット施設予約を利用しない理由

- ・電話の方が便利・確実
 - ・3か月前に予約しているため
 - ・ネット環境がない
- コンビニ決済を利用しない理由
- ・コロナの状況で当日払いのため必要がない
 - ・手数料がかかるから
 - ・窓口で払うのが確実・安心できる

要望

- ・1週間以内でもweb予約可能にしてほしい。
- ・Wi-Fi利用可能な部屋を増やしてほしい。
- ・和室の冷房・暖房が効きにくい。

謝辞

- ・たいへん調理室が気に入っています。スタッフのみなさんも。

クレオ大阪中央運営委員会の開催

全市的な取組みを担う基幹的センターかつ地域拠点であるサテライト館として、幅広く意見や助言を求めることを目的に開催した。

【運営委員】

氏名	所属等
竹村 登茂子	【座長】ジャーナリスト、元読売新聞編集委員
上田 実千代	中小企業診断士、有限会社オフィスウエダ 代表取締役
田中 邦子	エコスペースゆう 代表
朴木 佳緒留	神戸大学名誉教授、京都教育大学監事
渡辺 和香	NPO法人女性と子育て支援グループ pokkapoka 代表
中野 泰志	大阪市市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課長
古武 誠司	大阪市市民局ダイバーシティ推進室雇用女性活躍推進課長

・第1回運営委員会

<日 程> 11月11日(木) 14:00~16:00

<主な意見> ・施設の利用促進、コロナ下における事業実施手法の工夫、学生の利用促進についての助言をいただいた。

・第2回運営委員会

<日 程> 3月9日(水) 14:00~16:00

<主な意見> ・女の子のためのクレオ保健室事業、女性チャレンジ応援拠点事業、フェスタ等の地域連携事業等についての助言をいただいた。

3. 実施事業

(1) 男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供

ア 情報提供ネットワークシステム・ホームページの運営

クレオ大阪の他の4館と連携し、ホームページの運営を行った。3月30日にトップページ以外のページのリニューアルを実施した。クレオ大阪の事業や男女共同参画に関する施策の最新情報の他、調査研究報告や啓発資料、情報誌のWeb版など、学習や啓発効果を高める情報発信を行った。また、スタッフブログやフェイスブックを活用し、事業案内や事業報告など、迅速性を有する有益な情報を、随時配信・提供した。

ホームページビュー数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
総アクセス数	301,106	302,220	277,181	319,398	307,477	291,703	
トップページ	10,253	7,377	7,000	8,909	7,232	6,589	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
総アクセス数	311,464	294,240	265,911	244,825	247,837	294,169	3,457,531
トップページ	7,525	7,089	6,058	6,807	6,034	7,585	88,458

イ 女性のチャレンジ応援サイトの運営

女性が様々な分野にチャレンジする際に役立つ情報として、起業・学習・研究、市民活動、仕事と家庭の両立、関連施設等に関する情報を提供した。

ウ 情報・図書コーナーの運営

利用者に安心してご利用いただけるように、新型コロナ対応を取りながら運営を行った。

新着図書案内の作成・配布(毎月初)、ブックフェアの開催をセミナー等、事業開催に合わせて、実施(年間20回)し、本への関心を高めるとともに利用者のニーズに応える工夫を行った。

また、一時保育つき読書タイム「本を読む日」の開催(第4水曜日)や、NPO法人てんやく絵本ふれあい文庫と連携して、てんやく絵本の貸出(1人3冊、1週間)を行うなど、利用者のすそ野を広げる取り組みを行った。

てんやく絵本は、3か月に1度50冊を入れ替えて利用者の利便を図った。(貸出実績17冊)

市民や企業、団体等からの問合せや要望に応じ、パワハラ・マタハラ・セクハラ防止、ワーク・ライフ・バランス、メンタルヘルスに関する啓発冊子や啓発DVDを提供した。

(実績：団体2件、企業1件、貸出期間3週間)

貸出時間	9:30~21:30(年間開室日数:248日) 日・祝は9:30~17:00(7月から実施)
休室日	休館日:月曜日、祝休日の翌日(休日の場合は開館)、年末年始(12月29日~1月3日)、特別整理(蔵書点検)期間(9月7日~9月11日)

・新型コロナ対応を理由とする休室:4月25日~6月20日

・開室時間の短縮:4月5日~4月24日(20時まで)、6月21日~10月24日(21時まで)

利用実績(カッコ内は前年実績)

(目標数値 利用者数9,000人以上/年)

新規登録者数	利用者数	利用冊数	情報相談件数	ネット予約登録者数	予約冊数 (窓口・OPAC/インターネット)
382人 (352人)	5,175人 (5,046人)	18,464冊 (17,633冊)	50件 (71件)	221件 (226件)	1,027冊/5,436冊 (1,093冊/5,561冊)

収集資料数

内容	収集数	総数
図書	341 点	35,400 点
D V D	10 点	681 点
行政資料	61 点	10,390 点
ミニコミ誌 / 商業雑誌	27 誌 / 14 誌	



ブックフェアの実施

主催事業や時事に対応したさまざまなテーマで、ブックフェアを実施し、利用促進を図った。

セミナー・事業関連	<ul style="list-style-type: none"> ・クレオ保健室(4月) ・男女共同参画社会(6月) ・生理で困っていませんか?(7月) ・カフェ開業講座(4月) ・パパだいスキップ!(6月) ・ワーク・ライフ・バランス(8月)
時事・特別テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・LGBTQを知ろう(4月) ・ピンクリボン月間(10月) ・あの日を忘れない! 防災とボランティア(12月) ・デートDVのない素敵な関係を作ろう(1月) ・男性の育児・家事(9月) ・子どもの人権(12月) ・お悩み相談(12月) ・家族のケアは誰がする(2月)

館ニュースの発行

施設運営・事業運営に関することを発信する広報媒体として、「クレオ・ニュース」を発行した。
毎月1,000部発行

「一時保育つき読書タイム～本を読む日～」の実施

子育て中の方の「本をゆっくり読んだり、職場復帰の準備として学習したりできる時間や場所が欲しい」というニーズに応え、毎月1回実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため4・5月は中止。水曜日10:00～12:00 一時保育定員:10人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
申込人数	-	-	9	9	18	18	17	18	19	21	19	24	172 (132)
参加保護者数	-	-	6	5	6	6	9	5	5	7	7	9	65 (50)

カッコ内は前年実績、前年度実施回数9回

「女性チャレンジ応援拠点」での情報提供

4階の女性チャレンジ応援拠点において、3階の情報・図書コーナーを案内するとともに、役立つ本、最新の本や新聞記事などを情報提供し、相互の利用促進を図った。

(2) 男女共同参画社会の形成に関する講演会、講習会、研修会等の開催

ア 男女共同参画セミナー

コロナ下で特に影響を受けている女性や若い世代を取り巻く課題に着目しつつ、男女共同参画社会の実現に向け、「困難を抱えた女性への支援」「女性の活躍推進」など様々なテーマで開催した。

「困難を抱えた女性への支援」に向けては、DV被害者支援団体と連携して映画上映会を行い、生理用品の入手が困難な方へ生理用品の配布(大阪市女性のつながりサポート事業と連携)も実施した。

「女性の活躍推進」に向けては、育児・介護・治療と仕事の両立をする女性経営者から、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けたサポートや制度の活用についての事例紹介や交流会を行った。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、望まない妊娠や性行為の増加、心や体の不調を一人で抱え込む若い世代へ向けて「性感染症・性同意」「生理のお悩み」などのオンデマンドセミナーを配信し、女の子のためのクレオ保健室などの相談窓口へ繋げる取り組みを実施した。

受講者満足度：98.8%（目標数値 受講者満足度 80%以上）

	セミナー名	趣旨・ねらい	実施日 回数・定員	応募者数 (人)	のべ受講 者数(人)
女性の能力開発・就労・起業、理工系分野での活躍					
1	女性のための自分スタイル研究所「Instagram パツと目を引く編集術！」 (オンライン)	20～40代の働く・これから働きたい女性が、仕事や暮らしに関する新しい知識やノウハウを聞くことで前向きに自己実現をめざすためのヒントを得る機会を提供する。また、同世代の仲間と意見を交わし、モチベーション向上にもつなげる。	5/27 全1回 定員 35	(オ)65	(オ)45
2	女子中高生向け！サイエンスワークショップと、先輩に聞く理系進路Q&A	科学の面白さや実験の楽しさを体験できるワークショップを行うとともに、理系進路を選択した女性大生から体験談を聞いたり質問できる時間も設ける。クレオ大阪南・東と連携	8/18 全1回 定員 15	22	17
3	20代からの Re:start 私のライフ&キャリア	ロールモデルとなる先輩女性の話を聞き、自己理解を深め、人生を一步前進させるアクションプランを立てる機会を提供する。	9/11 全1回 定員 20	20	24
4	女性社長に学ぶワーク・ライフ・バランス (オンライン)	育児・介護・治療との両立を乗り越えてきた女性社長3名を迎えてトークセッションを行う。 共催：大阪府中小企業家同友会女性部会	10/15 全1回 定員 55 (40+15)	(オ)56	(オ)42
5	第5回トライセクターリーダーシップセミナー 今、求められる親子の居場所とは？	子どもの貧困や子育て世帯の孤立などについて、NPO・行政・民間などのセクターを超えた課題解決に向けて考える。	3/21 全1回 定員 30	39	30
地域における女性の視点(地域防災活動、地域活動の企画・運営)					
6	【現代社会ゼミ】サステナブルな未来をつくる女性たち～福島これまで、これからトークLIVE2021～ (来場・オンライン)	コロナ禍での新しい防災知識を学び、感染予防の視点を踏まえた共助防災について学ぶ。また、防災資源や避難所、地域組織内でのコミュニケーションやまちづくりについて考える。	6/27 全1回 定員 40 (20+20)	32 (来)6 (オ)26	29 (来)10 (オ)19
女性に対する暴力の根絶・困難を抱えた女性への支援					
7	「家庭で暮らせない子どもの今を理解する」～さとおやっとなあに～	虐待と社会的養護からみた「子どもを取り巻く現状」を伝え、里親制度や里親全般についての知識を学ぶ。里親が必要な児童の存在を知り、社会的養護の理解を深める。 共催：大阪市児童福祉施設連盟	10/24 全1回 定員 20	24	17
8	「わたしらしくていいやん」助産師が10代に伝えたい自分を認める大切さ	10代の子もたちが学校や家庭以外の多様な居場所や大人と出会うこと、自分を肯定的に見つめることができるようになることを目的とする。クレオ保健室のアドバイザーがワークショップを交えて実施する。	6/25 全1回 定員 20	24	16
9	映画上映&講演会 『わたしは、ダニエル・ブレイク』	コロナ禍はシーセッション(女性不況)と言われるように世界的に女性への影響が大きく、困難を抱えた女性への支援が必要とされている。貧困などの困難を抱えながら生き抜くシングルマザーを取り上げた映画と講演を通じて、困難を抱える女性への支援について考える。 共催：夕陽丘基金	3/12 全1回 定員 250	223	189

各種ハラスメント					
10	中小企業担当者のためのハラスメント対策セミナー（オンライン）	令和2年度クレオ大阪中央では「職場におけるハラスメント実態調査」を行った。この調査結果をもとに、これからハラスメント対策が求められる中小企業の担当者向けに研修の場として設定する。	6/16 全1回 定員25	(オ)27	(オ)24
固定的な性別役割分担意識の解消					
11	35歳からはじめてママ応援講座～「今」を楽しむ子育て～	コロナ下で、一人で頑張ってしまうがちなママを対象に、同じ世代や状況のママ同士での交流、日ごろの心配事や悩みを共有し、今だからこその子育ての喜びや楽しさを改めて体感する機会とし、前向きな子育て期間を応援する。	10/7 10/14 全2回 定員15	10	17
12	じんけんシネマ 2021	女性・ジェンダー平等に関する切り口から人権について取り上げた映画を上映し、映画を通じて人権に関する日本と世界の諸課題について考える。 共催：ヒューライツ大阪	12/5 全2回 定員40+40	(午前)58 (午後)63	(午前)51 (午後)50
男性への意識啓発					
13	パパだいスキップ！～絵本読み聞かせライブ 2021～	男女共同参画週間中の休日に、父親の子育て参画を推進する事業として実施する。	6/27 全1回 定員25	25	25
国際的な取り組み(SDGs・海外の動向など)					
14	大阪・関西サプライヤーダイバーシティフォーラム（オンライン）	SDGsの推進に向けて、企業の調達・購買分野において、取引先の多様性(ダイバーシティ)に配慮する「サプライヤーダイバーシティ」の取り組みについて、国内外の事例から学ぶ。 共催：大阪府中小企業家同友会女性部会	8/4 全1回 定員60	(オ)63	(オ)56
15	第8回 上本町SDGs大学 やさしい日本語の多文化防災フェス	地域の外国人住民やその支援者とともに、多文化の視点で、防災について考え、学ぶ機会を設ける。	6/27 全1回 定員36	33	33
16	第9回 上本町SDGs大学 子どもの貧困～おてらおやつクラブの活動現場から～（オンライン）	子どもの貧困にスポットを当て、子どもたちを取り巻く貧困の現状と課題について学び、さまざまな視点からアクションプランを考える機会とする。 共催：PREX	9/30 全1回 定員30	(オ)23	(オ)20
17	第10回 上本町SDGs大学 アジア人女性が輝く食堂に学ぶ「食」から広がる共生社会（オンライン）	アジア人女性の雇用とエンパワメントを切り口に日本で暮らす外国人住民を取り巻く課題解決の取組み考える機会とする。 共催：PREX	11/18 全1回 定員30	(オ)39	(オ)22
18	第11回 上本町SDGs大学 会社も学校も教えてくれない外国人の現場のウラ側～外国人×SDGsで大切なたった一つのこと～（オンライン）	SDGs達成に向けて、ゲストスピーカーから話を聞き、参加者とディスカッションや交流を通して学ぶ機会。 共催：PREX	3/4 全1回 定員30	(オ)21	(オ)19

女性のからだと健康講座（オンデマンド）	助産師による「女性のからだと健康」に関する3テーマの解説動画を制作し、クレオ大阪 YouTube チャンネルで公開した。 再生回数：「生理のお悩み」 12/17 公開:656回 「性感染症・性同意」 12/21 公開:361回 「更年期」 12/21 公開:175回 計 1,192回
---------------------	--

- ・学習者の都合に合わせて、いつでも何度でも、スマートフォンからでも視聴による学習が可能なオンデマンドセミナーを開始し、市民の学習機会の拡大・充実を図った。中央館では5館のテーマ調整、撮影業者の一括手配、クレオ大阪ホームページ・クレオ大阪 YouTube チャンネルで公開および公開用のサムネイル画像の作成を一括して行い、効果的・効率的な実施に統括的役割を果たした。



第 8 回上本町 S D G s 大学
やさしい日本語の多文化防災フェス



女性のからだと健康講座（オンデマンド）
「生理のお悩み 助産師が教える受診の基準はコレ！」

イ コラボ型セミナー

地域において男女がともに参画し、大阪の魅力創出や活性化につなげる活動をする方とクレオ大阪が協働して実施した。（応募 11 件、選定団体：Amanecer）

セミナー名	趣旨・ねらい	実施日 回数・定員	応募者数 (人)	のべ受講 者数(人)
家族で育む！きれいな歯並びのためのお口の育て方	子どもの歯磨きや、食事の場面でのコミュニケーションなど、家族と一緒に学ぶことで、家庭内での積極的な子育ての協働に繋げる。	11/14 全 1 回 8 組 16 人	3 組 6 人	3 組 6 人

ウ 地域出前セミナー

地域における男女共同参画を推進するため、下記の 4 区で出前セミナーを実施した。「地域防災」と「男女共同参画に関するテーマ」の内、各区の地域団体の依頼に応じて 1 回ずつ実施した。

担当区	日程	団体名	テーマ	受講者数(人)
天王寺	6 月 8 日	YMCA 学院高等学校	コミュニケーション	11
	7 月 12 日	太平洋人材交流センター	ワーク・ライフ・バランス	24
	11 月 9 日	天王寺区地域女性団体協議会	食の安全と食品ロス	41
西	3 月 13 日	西区社会福祉協議会	ママのための防災教室	11
	1 月 29 日	きらぼかひろば	防災と男女共同参画	12
中央	12 月 14 日	大手前高校(定時制)	デートDV	33
	3 月 22 日	中央区社会福祉協議会	防災	8
浪速	10 月 28 日	(社福)みおつくし福祉会	ファミサポ活動中の子どもの安全	9
	3 月 5 日	大阪市コミュニティ協会浪速区支部協議会	はじめてママ・パパのための子育て応援講座	8
				157

令和 3 年度実施状況

(目標数値 受講者数 800 人以上/年)

	事業数	実施回数	定員(人)	応募者数(人)	受講者数(人)				のべ受講者(人)			
					女性	男性	無回答	計	女性	男性	無回答	計
男女共同参画セミナー	18	20	831	867	563	135	28	726	563	135	28	726
コラボ型セミナー	1	1	16	6	3	3	0	6	3	3	0	6
地域出前セミナー	9	9	157	157	114	43	0	157	114	43	0	157
合計	28	30	1,004	1,030	680	181	28	889	680	181	28	889

	事業数	公開動画本数	再生回数
オンデマンドセミナー	1	3	1,192

受講者の声

- ・大学生活や進路についての先輩の話を聞き、考え方、捉え方次第なのかな、と思えたので色々チャレンジしていこうと思いました。増幅回路について知らなかったので調べてみたいと思いました。人見知りなのですが、先生がフレンドリーで来て良かったです。(女子中高生向け！サイエンスワークショップと、先輩に聞く理系進路Q&A)
- ・子どもの貧困がより深刻になっている中で、児童虐待防止に向けて、安心できる地域づくりについてもっと学びたいと思いました。地元天王寺での親子支援の取り組みを聞き、刺激になりました。(第5回トライセクターリーダーシップセミナー 今、求められる親子の居場所とは?)
- ・日本だけでなく先進国と言われる他国でも、貧困や不平等があることを知れてよかった。生理の貧困について最近よく聞きますが、なぜコソコソ買う必要があるのか、主人公が言い出せなかった辛さを思うと、社会全体への性教育の大切さを痛感しました。(映画上映&講演会『わたしはダニエル・ブレイク』)
- ・自分が当たり前を受けとめていた環境の改善をしなければ、女性の経営者やスタッフが自分の希望する未来の実現はまだまだ難しい状況だと感じました。グループディスカッションでは、多様なメンバーでそれぞれの経験を共有でき、大変エンパワーされました。(大阪・関西サプライヤーダイバーシティフォーラム)
- ・多文化をふまえた防災講座は大変興味深かった。SDGsの誰も取り残さないという視点からの防災を楽しく勉強でき、海外の方の参加もあり、国際的でした。易しい言葉での講義で防災初心者にとっても良い講座だったと思います。(第8回 上本町SDGs大学やさしい日本語の多文化防災フェス)

エ インターンシップ等の実施

大学生・大卒者を対象にインターンシップ(職場実習)を受け入れた。施設や相談事業に関するPR動画制作活動、セミナーの運営補助などを行った。より良い施設運営や男女共同参画に関する事業実施に向け、積極的な意見や、提案もあった。

- ・大卒者1人、大学生1人
- ・大阪経済大学「ボランティア論」・「ボランティア実習」履修生：12人

オ グループ活動・ネットワーク支援事業

自主グループ活動(日本語教室の運営)支援

在住外国人の方を対象に、日本語の読み書きを学び、また、文化交流を通じて相互理解を深める「場」としてのボランティアグループによる日本語教室の運営を支援した。

実施日：通年 毎週木曜日・午前

実施回数：25回

参加者数：733人

新型コロナ対応のため、4月～6月、9月の計14回は活動を休止した。

他機関との連携やネットワークの構築支援

父親を対象とする脱暴力のグループワーク「男親塾」実施の会場提供協力

主催：大阪市こども相談センター

カ 地域のグループ等との連携事業

事業名称	クレオ中央 わくわくサンデー【男女共同参画週間イベント】		
実施内容	父子で楽しめる絵本読み聞かせライブや多文化防災フェス、福島県在住の講師・ゲストとオンラインで実施したセミナー、女性作家による手作りマーケット、ワークショップ等、男女共同参画・クレオ大阪に関心をもってもらうきっかけとして男女共同参画週間にイベントを開催。 協力：天王寺おはなしぼちぼち・絵本の会天王寺、エコスペースゆう、むつみ工房 他		
日程	6月27日(日) 10:30～16:00	参加人数	のべ600人

事業名称	クレオ大阪中央フェスタ		
実施内容	施設利用グループや団体、地域の事業者などと共につくる市民協働の館まつり。新型コロナ対応のため、実行委員会形式をとらず館主体で企画し、3日間の分散開催とした。 また、オンラインで参加できる試みとして「やってみよう♪リモートセッション with CREO」を実施し、20人の参加を得た。 ・11月19日(金) 前夜祭「開館20周年記念コンサート」 ・11月20日(土) 手作りマーケット、オーガニックバザール、フードドライブ等 ・11月21日(日) 手話付きミュージカル「火の鳥 晶子と鉄幹」等		
参加人数等	のべ3,390人 出展者数：50団体	協働等	協賛：パイン株式会社 後援：大阪市天王寺区

参加者の声

- ・コロナ禍の中、舞台を成功させようと努力されたことに心から敬意を表します。ピアノ生演奏、手話通訳付きのお芝居、とても素晴らしかった。(ミュージカル参加者)
- ・コロナで家にこもりがちな毎日から一歩出られた感じでとても良かった。
- ・自粛は疲れますので、感染対策をして開催してくれて、本当にありがたかった。



開館20周年記念コンサート

事業名称	みんな仲間だ！フェスティバル2021		
実施内容	「With コロナ、孤立から共生へ」をテーマに、子どもの声を聴く：子どもアドボカシーについて考える基調講演や学生からの発表、テーブルトーク等のイベントを実行委員会形式により開催した。		
日 程	12月12日(日) 13:00～16:30	参加人数	30人(うちオンライン4人)
協働団体	共催：みんな仲間だ！フェスティバル2021 実行委員会 実行委員会構成団体：(公社)アムネスティインターナショナル日本なにわグループ、(公財)オイスカ関西支部、だるま塾、親子ネット関西等		

キ 区内で活動するグループ等との協働事業

事業名称	クレオ大阪のおはなし会		
日 程	7/25(日)、9/26(日)、11/20(土) 1/23(日)、3/26(土) 11:00～11:30	参加人数	136人
協働団体	天王寺おはなし「ぼちぼち」・絵本の会天王寺等		

ク 保育室開放デー

主催事業・貸室利用が比較的少なく、暑さ寒さの厳しい時期に、親子が安心して遊び・交流できる場として、保育室を一般開放した。新型コロナ対応のため、定員2組(1組5人まで)実施した。

時期	実施日	時間	保護者(人)	子ども(人)	計
【夏】	8/5(木)、8/7(土)、8/19(木)、 8/26(木)、8/27(金) 計5回	10:00～13:00	7	9	7組16人
【冬】	3/3(木)、3/6(日)、3/20(日)、 3/25(金)、3/31(木) 計5回	10:00～14:00	6	6	6組12人
合計			13	15	13組28人

ケ 一時保育・手話通訳の実施

一時保育 利用保護者数：105人、保育児童数：109人
手話通訳 利用なし

(3) 男女共同参画にかかると問題に関する相談

相談事業の認知度向上に向けた取り組みを行った。

- ・女性相談のパンフレットにメール相談QRコードを掲載
- ・Instagramのリーül動画を作成
- ・ホームページバナーのリニューアル

【Instagram】 ・30秒でわかる クレオ大阪女性相談（508回再生）

・クレオ大阪女性相談 YouTube版（535回再生）

・自分のことを好きになれないあなたへ（1,240回再生）

リーül動画



緊急事態宣言を受け、下記の期間は相談時間を短縮して実施した。

- ・4/5～4/24 まん延防止重点措置のため、女性相談は電話20:00まで、面接19:00まで実施
- ・4/25～6/20 緊急事態宣言発出のため電話相談のみ16:00まで実施。受付は火～土17:00まで。

ア 女性総合相談センター事業

女性が抱える様々の問題を整理し、適切な機関の情報提供をはじめ、相談者の自尊感情の回復、自立へとつながるようサポートを行った。

24時間受信の可能なメール相談は通年実施。

相談種別	実施日程	相談形態	件数	
			3年度	2年度
一般相談	火～土 / 10:00～20:30 日・祝 / 10:00～16:00	面接 電話 メール	256 11,154 475	257 11,908 135
自立・悩み相談 (心理カウンセラー)	木・金・土 / 17:00～20:00 火・木・金 / 13:00～16:00	面接	199	201
からだ相談 (保健師・看護師)	火～土 / 10:00～20:30 日・祝 / 10:00～16:00	面接 電話 メール	33 120 17	1 149 -
法律相談 (女性弁護士)	毎週金 / 13:00～16:00 第4金 / 17:00～20:00	面接	62	65
グループワーク等	年間2テーマ	面接	61	72
特設法律相談 臨時開館事業として実施	2月24日	電話	13	16
合計			12,390	12,804

メール相談は、令和3年1月開始のため、2年度は3か月の実績

月別件数(全体)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接	47	0	27	70	53	64	95	56	57	52	39	51	611
電話	941	816	828	975	967	778	965	1,130	942	918	906	1,121	11,287
メール	53	52	29	42	37	44	33	30	26	50	43	53	492
合計	1,041	868	884	1,087	1,057	886	1,093	1,216	1,025	1,020	988	1,225	12,390

月別件数（各館内訳）クレオ大阪各館への出張による面接相談（設定枠：週2日<6時間/日>）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子育て館	0	0	0	0	2	0	3	3	3	0	3	0	14
西部館	2	0	2	5	3	3	2	2	2	0	1	3	25
南部館	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
東部館	0	0	0	3	3	1	1	0	1	4	0	1	14
	4	0	2	8	8	4	6	5	6	4	4	4	55

相談内容(全体)

	生き方	こころ	からだ	労働	夫婦関係	親子関係	人間関係	人権侵害	法律	暮らし	その他	合計
面接	35	102	33	5	139	97	69	63	61	2	5	611
電話	124	5,353	120	163	537	664	793	137	14	125	3,257	11,287
メール	12	211	17	5	45	53	39	34	0	16	60	492
計	171	5,666	170	173	721	814	901	234	75	143	3,322	12,390

年代別件数

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	計
面接	0	38	142	162	159	28	8	2	72	611
電話	12	184	806	1,506	2,760	1,310	211	16	4,482	11,287
メール	18	67	78	82	70	5	0	0	172	492
合計	30	289	1,026	1,750	2,989	1,343	219	18	4,726	12,390

時間帯別件数（メール相談内訳）

時間帯	10時～20時 面接・電話相談実施時間内	20時～10時 面接・電話相談実施時間外	合計
受信件数(件)	323(65.7%)	169(34.3%)	492(100.0%)

- ・相談内容は、「こころ」に起因する相談主訴が 5,666 件で全体の 45.7%を占め、長引くコロナ禍で不安を抱える人が増加していると推察される。
- ・メール相談は、10～20代での利用割合が高いこと、面接・電話相談実施時間外での受信が 169 件 (34.3%)あること、メール相談から電話相談や面接相談、クレオ大阪の事業参加(セミナーやチャレンジ応援拠点など)へ誘導できた事例もあったことから、相談方法の一つとして有効であった。
- ・相談内容の「人権侵害」(234 件)のうち、DVを主訴とする相談件数は、162 件(69.2%)あった。相談の背景にDVがある件数は 243 件と昨年度(153 件)より増加している。

グループワーク

同じ悩みや体験を持つ人が集い、語り、共感しながらエンパワメントするために実施した。

事業名	内容	受講者数
こころ・からだ・動作	エゴグラム、自己表現法、臨床動作法を体験する。(全5回)	29人
暴力により心に傷を抱えた女性のためのグループワーク	DV・虐待等の体験を持つ女性を対象に、誰にも言えなかった気持ちを話し合う。(5回)	21人
ベビママサロン【新規】 (協力：クレオ大阪子育て館)	生後2か月から1歳6か月までの赤ちゃんの親を対象に、親子でリフレッシュしながら育児等の情報交換を行う。 日程：1月26日(水) 10:15～11:30	5組 11人

「大阪府下一斉無料法律相談会」参加 3月5日(土)13:00～16:00 主催：大阪弁護士会

アンケートの実施

面接相談利用者アンケート 実施期間：10月12日(火)～3月31日(木)

満足度(肯定的な意見) 100% (回収数 112件) 目標数値 満足度 80%以上

イ 女性のための特設電話法律相談(臨時開館事業)

休館日に電話相談専用番号を活用して相談室で実施した。

日時：2月24日(木) 12:00～18:00 受付件数：34件、うち法律相談件数 13件

ウ 男性相談

子育て館において毎週金曜日(19:00～21:00)及び、第3日曜日(11:00～17:00)に実施した。

相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接	9	0	2	12	10	11	11	12	12	11	8	10	108
電話	10	13	19	15	12	17	16	17	16	15	13	22	185
合計	19	13	21	27	22	28	27	29	28	26	21	32	293

相談内容

	生き方	こころ	からだ	労働	夫婦関係	親子関係	人間関係	人権侵害	法律	暮らし	その他	合計
面接	21	21	8	6	26	9	11	6	0	0	0	108
電話	27	35	22	7	20	18	36	9	0	4	7	185
計	48	56	30	13	46	27	47	15	0	4	7	293

(前年度 327)

4/5～4/24 まん延防止重点等措置のため面接、電話相談とも20:00まで。

4/20～6/20 緊急事態宣言発出のため金曜日の夜間相談中止。第3日曜日は電話相談のみ。受付は火曜日～土曜日17:00まで。

夜間の電話相談の代替として、別途相談日を設けて実施した。

5/8(土)、5/23(日)、5/30(日) 14:00～16:00

6/5(土)、6/6(日)、6/12(土)、6/13(日)、6/19(土) 14:00～16:00

- ・相談内容では、DVを主訴とするものは8件(2.7%)、相談の背景にDVが認められるものは、16件(5.5%)であった。

アンケートの実施

面接相談利用者アンケート 実施期間：10月12日(火)～3月31日(木)

満足度(肯定的な意見) 100% (回収数 27件) 目標数値 満足度 80%以上

エ 配偶者暴力相談支援センター

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛によりDVの増加が懸念された。配偶者が在宅していることにより電話でのDV相談が難しい状況下で、メール相談の利用が全体では26.4%、20代では31.4%の利用であった。

相談件数 面接：DV相談証明の発行に伴うもの、大阪市職員実施分等を除く

月別件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
面接	2	4	2	4	5	4	7	3	3	3	2	7	46
電話	65	41	66	51	52	47	45	49	59	45	64	60	644
メール	24	32	21	22	28	11	18	21	19	15	19	17	247
合計	91	77	89	77	85	62	70	73	81	63	85	84	937

年代別件数

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	計
面接	0	5	16	16	7	2	0	0	0	46
電話	9	124	202	176	83	23	17	3	7	644
メール	3	59	68	74	29	3	1	0	10	247
合計	12	188	286	266	119	28	18	3	17	937

(前年度 1,352)

通訳者派遣：4月-タイ語1、5月-ベトナム語1、6月-ベトナム語1、7月-台湾語1、
8月-タイ語1、9月-英語1、10月-ベトナム語1、中国語1、11月-実績なし、
12月-中国語1、1月-実績なし、2月-実績なし、3月-タイ語1

オ 女性チャレンジ応援拠点

地域活動を始めたい、または現在活動している女性・団体などを対象に、来室、電話、メールにて相談対応やアドバイスを行った。休室や利用人数制限などもあり、利用人数は当初目標の92%となった。昨年度利用人数(475人)より16%増加した。

事業では内容や状況に応じて、オンラインでの実施を行うなど、利用者ニーズに対応しながら運営を行った。

開室状況 (年間開室日数 217日)	火・金 / 10:30～12:30 木・土 / 13:00～15:00 水 / 18:00～20:00
-----------------------	---

利用者アンケート満足度：98%
(目標数値 満足度80%以上)

利用目的	主な内容	利用者数
個別相談	・企画書や事業計画書を作成したのでアドバイスがほしい ・活動したいテーマはあるが、何から始めていいかわからない ・活動の今後の方向性を相談したい	160 (うち起業相談20)
情報提供	・開室時間、催し等の情報提供 ・より専門的な相談窓口の情報提供	151
交流・その他	・活動の報告 ・活動紹介やイベントのチラシの持参	86
運営事業	ミニサロン ・「キラリ と光る自分」と出会う～自己理解ワークショップ～ ・インスタグラムなどでのSNS広報に役立つ画像編集 ・クレオチラシ部改め、クレオ広報部 ・一緒に話そう！一緒に学ぼう！育児と介護のダブルケア	67
	ワークショップ ・拠点ゼミ(年4回) ・広報・PR・SNSでつかえる！ビジュアルで伝えるプレゼン術	86
合 計		550 (前年度 475)

(目標数値 利用者数600人以上/年)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別相談	14	4	11	12	11	27	17	9	12	10	15	18	160
情報提供	12	0	9	18	11	10	13	26	10	9	9	24	151
交流	2	8	12	2	3	10	5	5	4	2	2	9	64
その他	0	0	6	5	1	0	4	1	3	0	0	2	22
事業運営	-	7	19	5	15	0	0	32	7	0	42	26	153
計	28	19	57	42	41	47	39	73	36	21	68	79	550

4/25～6/20 緊急事態宣言発出のため来館による相談は休止、電話・メールは通常どおり対応(水曜日以外)

6/27(日) 13:00～15:00 地域連携事業「わくわくサンデー」の開催に合わせて臨時開室

11/3(水・祝) クレオ大阪南地域連携事業にて出張相談・イベントを実施

11/20(土) 10:30～12:30 クレオ大阪中央フェスタにて臨時開室

カ 女の子のためのクレオ保健室

開室状況 (年間開室日数 21日)	第1・3土曜日 15:30～18:30
----------------------	------------------------

若年層女子の「居場所づくり」のため、10代女子対象に、LINE相談および来室による相談を実施した。からだの悩みや友人、交際相手との関係の悩みなど、20代の女性の助産師が在室し対応した。館内および館外掲示版でのポスター掲示や男女共同参画情報誌『クレオ』に記事掲載するとともに、情報・図書コーナー内に「保健室コーナー」を設置するなど事業のPRに努めた。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
件数	LINE	-	-	-	-	1	1	3	8	4	6	9	7	39
	来室	0	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

(前年度 LINE:10、来室:実績なし)

LINE友だち登録:114人(3月末時点)

4月～7月についてはLINE社のセキュリティ問題のためLINE相談を中止。8月から国のLINEサービスを利用して相談する際のガイドラインに則ったシステムを導入し、LINE相談を再開した。

キ 子育て活動支援館における相談との連携

女性相談・子育て相談と、各相談事業の現状や課題等について意見交換、情報共有の機会を設け相互の連携を図った。実施日:10月21日(木) 14:00～16:00 参加15人

ク 相談室等の有効活用

相談項目	実施時間	実施回数	相談数(件)
しごと情報ひろばクレオ大阪西・マザーズ「出張就労相談」	毎週水曜日 14:00～16:00	40	19

(4) 男女共同参画社会の形成に関する啓発

ア 男女共同参画情報誌「クレオ」の作成

男女共同参画施策情報と男女共同参画セミナーなどの事業紹介、コロナ下で孤立するDV被害者やSDGsなどタイムリーな情報提供を行った。男女共同参画をわかりやすく解説したクレオ大阪中央研究室コラム「データで読む男女共同参画」や各ページの写真や図表の掲載を工夫し、読み手の立場で誌面づくりに努めた。

仕様: A4版、12頁、フルカラー、年4回発行、各15,000部

	主な内容
5月発行号	・#つくろう未来のカタチ ・福島からの手紙4「10年後」の福島 ・大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証 等
7月発行号	・生理のはてな ・女性チャレンジ応援拠点紹介 ・子育て相談 等
10月発行号	・コロナ禍で影響を受けるシングルマザー ・はじめてのSDGs(ふーどばんく OSAKA) ・11月女性に対する暴力をなくす運動期間 等
1月発行号	・若者たちが被害者にも加害者にもならないために ・デートDVのない素敵な関係をつくろう ・はじめてのSDGs(異なる文化との出会い) 等

主な配布先: 区役所、図書館、区民センター、市立小学校 等

イ 男女共同参画についての普及啓発

クレオ大阪を拠点として活動するグループ・団体・個人が、ネットワークを広げ、交流できる機会や場づくりを支援する事業として実施した。

グループルーム・交流サロンの運営 利用者数：17,969人

メールボックス メールボックス登録団体数：37団体

ウ 地域における男女共同参画社会の形成に向けた多様な主体との連携協力

展示ギャラリーの活用事業（応募・実施3団体）

展示ギャラリーを活用し、公募によりグループ団体等の活動発表の場を提供した。

- ・縁起のいい文字展（カラーブラッシュアート）
- ・夕陽丘うえまち写真コンテスト（一心寺文化事業財団）
- ・知ってほしいダブルケアのこと（任意団体 君彩）



展示 知ってほしいダブルケアのこと

エ 大阪市の施策や様々な記念週間等に合わせた啓発

男女共同参画週間・「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせた啓発（6月・11月）

- ・国の令和3年度キャッチコピーのポスター掲示、男女共同参画週間ノボリを館周辺に設置
- ・「女性の対する暴力をなくす運動」期間にノボリを館周辺に設置

大阪市男女共同参画普及啓発事業への協力

- ・「男女共同参画週間」中のイベント（6月27日）時に啓発物品「ウエットティッシュ」を配布
- ・「女性に対する暴力をなくす運動」（11月）期間中に啓発物品「あぶらとり紙」を配布
- ・ホームページでの啓発動画へのリンク設定（令和4年1月）

そのほかのトピックを展示物等で啓発

（1階玄関ホール、3階廊下壁面、情報・図書コーナー）

- ・SDGsに関する展示
- ・児童虐待防止に関する展示
- ・イクメン写真啓発冊子(フォトブック)の配布
- ・ストップ! コロナ差別をテーマとした「シトラスリボン」キャンペーンのポスターの掲示

オ ICTを活用した啓発

- ・クレオ大阪ホームページによる啓発
- ・女性のチャレンジ応援サイトによる啓発
- ・大阪市「未来ヘレディGO」サイトへの情報提供
- ・クレオ大阪子育て館の「おおさか子育てネット」との相互リンク
- ・インスタグラムなどSNSを活用した情報提供

(5) 男女共同参画社会の形成に関する調査及び研究について

「男女共同参画の視点からの新型コロナウイルス感染症影響下の就労・生活に関する調査」

目的	令和2年以降、新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という。)の拡大により仕事や生活の様々な場面で大きな影響が出ている。このような状況の中、今後の男女共同参画施策、とりわけ相談事業に関する取り組みの参考とするため、新型コロナが仕事や生活に与えた影響や、困ったことがあった場合の行動、相談 ツールとしても利用されている SNS の利用状況等について実態を把握することを目的とする。
調査手法	インターネットによるウェブアンケート調査
調査対象者	大阪市内在住の20歳以上男女1,200人 (調査会社登録モニターより条件該当者を抽出、性別、年代で均等割付)
調査期間	8月12日(木)～8月15日(日)
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ下における働き方、生活の変化 ・ 配偶者・家族との役割分担や意識の変化 ・ 仕事、生活に関して困っていること ・ 相談行動について 等
調査結果	<p>働き方、生活の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症の影響による働き方の変化について、新型コロナ拡大前(令和2年2月)と比較して、全体の64.5%が「特に変化はない」と回答しているが、有職者の15.0%が「1ヶ月の就業日数が減った」と回答し、15.8%が「在宅勤務が増えた」と回答。 <p>生活の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家事・育児に費やす時間の変化について、新型コロナ拡大前(令和2年2月)と比較して、家事について69.0%、育児について61.2%が「概ね変わらない」と回答。家事・育児とも女性の方が「増加した」との回答割合が高い。 <p>生活に関する困りごと、仕事や働き方に関する困りごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に関する困りごとでは、「生活の維持、収入に関すること」と回答した人が29.4%で最も高い項目となっている。 <p>困りごとへの対応、相談方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事に関する困りごとについて46.1%が、生活に関する困りごとについて42.1%が「誰にも相談しなかった」と回答しており、いずれも男性の方が相談しない割合が高い。 ・ 相談窓口の利用について、使いやすい相談方法としては、メール、電話、続いて SNS、面談の順となっているが、20代では60.5%が SNS と回答している。 SNS (LINE、Twitter、インスタグラム、Facebook)の利用状況 ・ 利用状況について男女間での大きな乖離は見られないが、年代による利用の差異は大きく、総じて20代の利用の割合が高い。 ・ LINE が最も利用されており、全体で52.0%、20代では78.0%、60代及び70代以上では、約4割が利用している。 <p>必要とされる支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約35%の人が「仕事や生活、家庭等に不安がある際の適切な相談先に関する情報提供」が必要と回答しており、最も高い項目となっている。

(6) その他

ア 政令指定都市男女共同参画センター意見交換会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、Zoomによるオンラインで開催した。政令指定都市の男女共同参画センターが「ポストコロナの時代の男女共同参画～誰一人取り残さない社会づくりに向けて～」をテーマに、事例提供や意見交換を行った。

日程：1月21日(金) 15:00～17:15 参加：18都市

イ 自主事業

男女共同参画を推進するクレオ大阪の機能を効果的に発揮し、その認知度や魅力をさらに高めるために、様々な団体とも連携して以下の通り各事業を実施した。

自主講座

講座名	事業数	定員 (人)	応募 者数 (人)	受講者数(人)			のべ受講者数(人)		
				女	男	計	女	男	計
キャリア開発・資格取得支援 「カフェ開業チャレンジ講座」等	11	220	239	160	31	191	1,062	201	1,263
こころ・からだの健康支援 「機能改善ヨガ」等	12	207	234	145	13	158	580	36	616
現役世代の家庭・地域参画支 援事業「パステル和アート」 等	4	76	107	66	2	68	195	2	197
合 計	27	503	580	371	46	417	1,837	239	2,076

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、定員の制限を行い、検温、手指消毒やマスク着用などの感染対策を行った。

クレオチャレンジカフェの運営

カフェ開業をめざす女性に期間限定で仕入れや在庫管理、接客、販売などの実務経験を積むための場「チャレンジカフェ」を提供した。

27期(4～10月): れんげ堂(小柳佐智子) 利用者のべ1,315人

28期(11～3月): Cafe emu(重枝弘子) 利用者のべ1,334人

一時保育事業

自主講座等の参加を促進するために一時保育を設定した。

保育対象年齢: 1歳～2歳 800円、3歳～就学前 500円

利用保護者数: 10人 保育児童数: 12人

啓発

・第12回イクメン写真コンテスト及び作品展

男性の育児参加促進を目的に、育児をしている男性「イクメン」の写真コンテストを実施した。作品をクレオ大阪ほか10会場で展示し、来館者の投票により入賞作品を決定した。

応募総数: 138点、投票者数: 510人、投票総数: 1,311票(1人3作品まで)

(前年度 応募総数: 130点、投票者数: 392人、投票総数: 944票)

施設利用者の利便性向上のための事業

・交流サロン等事業

館を拠点に活動するグループ等のネットワークを支援し、また利用者の利便に供するため、コピー機、印刷機、グループロッカーの設置、提供等の事業を行なった。

グループロッカー(有料)利用団体数: 6団体

・自動販売機設置事業

・サーモグラフィカメラ貸出

・プロジェクター(高性能(高画質))の貸出

ガールズ支援事業

・生きづらさ働きづらさを抱える若年女性支援事業

「自分のことが好きになれると思うあなたへ～わたしと出会うサロン」

事業体代表者の「女性のチャレンジ支援基金」を活用し、受講料無料で実施した。

2月23日(水) 14:00～15:30 受講者数4人(申込11人)

3月9日(水) 14:00～15:30 受講者数2人(申込3人)

第6回 全国男性相談研修会

午前はシンポジウム、午後からは分科会で事例検討会や基礎研修などを行い、男性相談を軸に全国の男性相談員等の学びや情報交換の場となった。

日程：2月27日(日) 10:00～16:00 参加者：計63人(シンポジウム36人、分科会27人)

ウ 近隣の施設間連携に関する業務

区役所や子育て関連施設、地域団体との情報共有、機能連携等を図った。

エ 視察、見学者等への案内・対応

・なし

4. 経費等収支の状況

(1) 収入

収入合計金額 305,722,306 円

【内訳】

指定管理代行料	245,268,000 円
利用料金収入	36,657,100 円
コロナウイルスの影響等による補填額	23,797,206 円
(内訳)利用料金(提案額)と実収入額の差額	18,683,900 円

(2) 支出

支出合計金額 304,719,501 円

【内訳】

人件費	153,382,367 円
事務費	2,427,038 円
施設の管理運営費	45,460,437 円
光熱水費	18,185,525 円
男女共同参画社会の形成の寄与に関する業務	68,129,353 円
(内訳)情報収集及び提供事業	2,526,985 円
講演会、講習会、研修会等の開催	3,007,963 円
相談事業	58,028,050 円
啓発事業	2,697,196 円
調査及び研究事業	1,869,159 円
その他経費	17,134,781 円

(3) 自主事業収支

収入合計金額 5,177,928 円

【内訳】

参加費（自主講座等）	3,323,320 円
チャレンジカフェ	294,000 円
ワークステーション（コピー・印刷機）	179,195 円
その他（自販機）	565,213 円
その他（サーモグラフィカメラ）	816,200 円

支出合計金額 4,424,898 円

【内訳】

人件費	2,237,639 円
講師謝礼	1,611,830 円
広報費	270,000 円
チャレンジカフェ事業費	247,312 円
ワークステーション（コピー・印刷機等）	30,941 円
その他（看板・備品等）	27,176 円

5. その他

（１）サービス向上・利用者からの苦情・意見・要望等への対応状況

- ・ご意見箱やご意見メールの活用、利用対象者ごとのアンケートの実施、抽選会参加者アンケート等による利用者のニーズ把握
- ・施設運営について、施設利用者やフェスタ参加者に「クレオ大阪に関するアンケート」の実施
クレオ大阪が「男女共同参画社会の実現をめざす」ための大阪市の拠点施設であることをご存知ですか？

	知っている（知っていた）	知らない（知らなかった）	合計
施設利用者（N=102）	93（91.2%）	9（8.8%）	102
フェスタ参加者（N=360）	244（67.8%）	116（32.2%）	360
合計	337（72.9%）	125（27.1%）	462

フェスタ参加者では約 68%の方が、施設利用者では 90%を超える方が、男女共同参画の拠点施設であることを認知していることがうかがえた。

（２）管理経費縮減への取組み状況

- ・電力およびガスの需給契約について競争的手法による事業者の選定を行い、指定管理期間中の管理経費の縮減を行った。
- ・電力需給契約に付加価値サービスとして省エネ実践サービスを付加することで、継続した省エネの取組みを実践し、料金単価上昇時のリスク軽減とエネルギーコストの削減を図った。
- ・省エネルギーを推進し光熱水費の縮減を図るため、指定管理者が所有するデマンドコントローラーを活用し、電気使用量の抑制管理を行った。
- ・コラボ型セミナーやギャラリー活用事業など、施設機能を活かしながら、職員がコーディネートを行い、施設・事業運営の一体化や効率化を図った。
- ・設備維持管理業務について、施設運営と保守業務の専門性を持つ事業者構成員の強みを活かして、緊急度・重要度の高い維持補修など、効果的で効率的な維持管理を行った。

（３）個人情報保護への取組み状況

- ・プライバシーポリシー及び情報セキュリティ対策基準の運用など、情報管理体制の強化に努めた。

(4) 主催研修・訓練等実績

【基礎研修】

- ・人権研修
アンコンシャスバイアス、ハラスメント研修
- ・男女共同参画基礎研修
- ・コンプライアンス研修
- ・個人情報保護研修
- ・情報セキュリティ研修
- ・施設運営に関する研修
- ・待遇・クレーム、コミュニケーション研修
- ・環境問題研修（オンデマンド視聴）

【階層別研修】

〔マネージャー級〕

- ・労務管理研修、職場復帰支援
- ・リーダー研修、メンタルヘルス研修

【専門研修】

- ・男女共同参画事業担当者 基礎・実践研修
- ・女性関連施設相談員研修（オンライン）
- 大阪府内相談員スキルアップ研修（オンライン）
- ・DV被害者地域支援者養成講座
- ・SNS相談員研修
- ・社会保険労務研修
- ・会計担当者研修

【防災・安全研修】

- ・消防・防災訓練
- ・救急救命研修（オンデマンド受講） 等

(5) 環境への取組み

- ・大阪市の施策に従って「廃棄物の減量推進及び適正処理に関する計画」を作成届出し、館内ごみ箱の撤去、リサイクル資源の回収ボックスの設置などの継続的な取組みを実施
- ・電力需給契約に付加した省エネ実践サービスによる継続した省エネルギーの実践
- ・LED化した共用部および諸室の照明設備を活用した省エネルギーの実践の継続
- ・デマンドコントローラーによる電力使用量の監視
- ・採光の有効利用による消灯の徹底